活き活きと輝き、誇れるまちの今をあなたに届ける

広報湯前

Public Relations

Since1962.

http://www.yunomae.com/
［まちの情報誌ゆのまえ］

8
TheMonthly
Aug_2018
Vol.446

特集1
続・高校生たちの熱き挑戦

親子だと、もっとおいしいね——

特集2
地域おこし協力隊リポート
和やかに楽しく、受け継ぐ技術

特集1　続:高校生たちの熱き挑戦

NEXT STAGE
ネクストステージ

「練習どおり」で全国へ 狙うは2種目入賞

熊本県高校総体・カヌー競技は5月30、31日に菊池市斑蛇口湖ボート場で開かれ、人吉高校カヌー部の森下将剛さん（同校3年＝野中田3）と福田龍之介さん（2年＝上村）がカヌー・スプリントカヤック※1フォアで優勝。森下さんはカヤックペアでも優勝し、2種目で全国大会への出場を決めた。

練習どおりが結果を生んだ

県大会・九州大会※2は500㍍で競技が行われる。「ペアとフォアの2種目で全国に行くことが目標だった。練習通りの力が出せたことがよかった」と森下さんは県大会を振り返る。

同高のフォアは後半の伸びが売りのチーム。決勝もスタート直後は他校にリードを許したものの、どんどん差を縮め、最終的には2位の水俣高校に1・80秒の差をつけて1分44秒58のタイムで優勝。ペアを制した森下さんは、シングルでも同校の選手とワンツーフィニッシュを決めた。

「水俣が強いと聞いていたので、そこに勝って優勝できて良かった」と話す福田さん。ことし5月に行われた宮崎県での合宿で、メンバー入りを果たした成長株だ。シングルでの目標は決勝に残ること。自信を力に変えて有言実行。決勝に残り、見事6位入賞。ペアでも2位を勝ちとった。

6月中旬には大分県豊後高田市で九州大会が開かれた。二人にとって初めての舞台だ。ペア・フォアどちらも県大会以上のタイムを記録し、フォアは4位入賞。しかし、森下さんは「周りが強豪ぞろいで、自分たちのスタートの遅さが際立った」と反省した。

苦手を克服する努力

中学時代野球部だった森下さんは「自然が好きで、川の近くにいられると思った」、陸上部で短距離の選手だった福田さんは「B＆G海洋クラブでカヌーをしたこともあって興味があった」ことと、同じ中学校の先輩の誘いもあって入部した。森下さんは「最初は楽しかったが、タイムを伸ばすための練習は本当にきつかった」と話す。

冬でも水上でのトレーニングは欠かさない。手が動かないほどの寒さに耐えてカヌーを漕ぎ、同時に陸上での地道なトレーニングも重ねた。「自分はクセのある漕ぎ方をしていた」とフォームは監督に指導を受け、実際にビデオで確認をして修正。努力が実り、昨年秋の県新人戦（シングル）で1位を獲得。だれよりも早くゴールできるほどに成長した。

「自分の持ち味は脚力だが、持久力がないことが課題だった」と福田さん。練習では500㍍10本を基本にメニューを組むが、冬場には一日30㌔を漕いで持久力を鍛えた。

目指すは6位以内

全国大会は8月3日〜6日に岐阜県海津市で開かれ、ペア・フォア、いずれも200㍍と500㍍で行われる。

森下さんは「2種目どちらも6位以内に入りたい。やるべきことはやってきたので、あとは体調を整えて万全の状態でレースに挑みたい」、福田さんは「先輩の足を引っ張らないように、大会までに少しでも自分のレベルを高めたい」と意気込みを語った。

福田龍之介
Profile
小学生時代、B&G海洋クラブに所属し、カヌーを体験したこともあり入部。成長著しく、5月にフォアのメンバーに抜てきされ、優勝に貢献した。短距離で鍛えた脚力が長所。

森下将剛
Profile
自然が好きでカヌーに興味を持ち入部。昨年秋、県新人戦で優勝。ことしの総体で2種目を制し全国大会へ。ウエイトトレーニングで鍛えた筋力をバネに力強くパドルを漕ぐ。

Shougou Morishita　Ryunosuke Fukuda

森下将剛

県高校総体カヌースプリント
カヤックフォア1位　ペア1位　シングル2位
人吉高校3年　野中田3

福田龍之介

フォア1位　ペア2位　シングル6位
同校2年　上村

※1 スプリントカヤック……
直線コースをいかに早く漕ぎきるかを競う競技。カヤックは両側に水かきのついたパドルを左右交互に漕ぐ。乗組員の数によってシングル（1人）、ペア（2人）、フォア（4人）に分かれる

※2 全国・九州大会の出場枠……
県大会の1位は全国大会へ、九州大会にはシングル4位まで、ペア3位まで、フォア2位までが出場できる

123世間話などで会話が盛り上がる中でも手は止まらない。座って作ることが多いが、会員の中にはイスと台を自作し、自分の作りやすい体制で作業をする人も**4**できあがった子ども用のぞうりを一まとめに。作品は湯〜とぴあや湯楽里などで販売されている**5**毎週日曜日の夕方に湯〜とぴあの音楽室で活動（3連休を挟むときは休み）

特集2　地域おこし協力隊リポート「和楽路の会」

和やかに楽しく、受け継ぐ技術

私が町内のイベントに出かけるたびに、何度も見かけたのが、わらじ作りの体験ブース。今まで実物を見たことがなかったわらじに興味を持ち、ブースに立ち寄ると、「和楽路の会」（椎葉茂代表＝6人）の皆さんが笑顔で出迎えてくれました。「どう？ あんたも作ってみらんね？」の一言に惹かれ、和楽路の会の活動に行ってみました。

リポーター
安井 佳奈

和楽路の会は平成17年に発足。現在、上球磨3町村の6人が毎週日曜日の午後6時からふれあい交流センター「湯〜とぴあ」で活動しています。

名前は『和』やかに『楽』しい、（『路』はわらじから旅や道を意味する）心のよりどころになればとの思いから。現在の会員が物作りの得意な故椎葉種蔵さんから作り方を習い、昔から続く技術を受け継ぎました。東方組臼太鼓踊りや浅鹿野棒踊りに使われるわらじも会員が作っています。

喜ぶお客さんが喜び

7月8日に皆さんが作っていたのは、手のひらサイズの小さな子ども用のぞうりでした。赤ちゃんの1歳の誕生日を祝い、一升餅※を背負って歩かせるときに使うもの。「一生食いっぱぐれないように、ぞうりを履いて人生の道をしっかり歩け」という思いが込められているそうです。

孫にあげるぞうりを作ってもらおうと、和楽路の会を訪ねた右田春美さん（68＝水上村）は「あんたも作んない」と誘われて入会。「最初はできないと思っていたが、作り始めたら楽しくなってきた」とその魅力を語ります。

町内イベントのブースではたくさんの子どもや若者の姿も見られます。外国の人は「日本の文化を学べてよかった」と喜び、作ったわらじを履いて帰ったそうです。できあがった作品を嬉しそうに持ち帰るお客さんを、さらに嬉しそうな顔で見送る会員の皆さん。そのやさしさにほっこりしました。

オリジナルに湧く愛着

私も初めてぞうり作りに挑戦しました。ビニールひもを専用の台に引っかけ、つま先から編んでいきます。土台を作るための行程が多かったのですが、会員がつきっきりで優しく教えてくれました。形を整えながら編み、最後に、台に引っかけていたひもを引っぱると、あっという間にぞうりの形に。鼻緒を編み込み、はみ出たわらを切って形を再び整えたら完成。自分で作ったぞうりは、なんだかかわいく、愛着がわきました。

使われることが少なくなるにつれて、作る人や技術を知る人が少なくなっています。この会も多いときは30人ほどで活動していたそうです。代表の椎葉さん（74＝田上）は「今のままでは、作り方を次の世代に受け継げないのではと心配している。子どもでも作れるほど、簡単で楽しい。10月からは、正月用の『しめ縄飾り』も作るので、興味がある人はぜひ入会してほしい。体験会もいつでも受け付けたい」とのこと。

惹きつけられた和と楽

イベントのたびに笑顔で迎えてくれる皆さん。今回も部屋に入った瞬間から、温かく迎えてもらいました。わらじとぞうりの違いすら知らなかった私に作り方を優しく教えてくれました。作っている間も、世間話で盛り上がり、とても和やかな雰囲気。私がわらじ作りに惹きつけられた理由。それは会員の「和」と「楽」でした。

※1歳の誕生日を迎えた子どもを祝うために一升（約1.8キログラム）の米を使ったもちを子どもに背負わせて歩かせる風習

6何本かまとめた、わら2組を両手で挟み、手をすり合わせて編んでいく「藁綯い（わらない）」という基本の編み方。代表の椎葉さんはものの数十秒で編み込んでいく。その「手」にはいろんな技がしみ込んでいる**7**二足一セットのため、両足同じ形にすることが理想。一足を半分作ったところで、もう片方も半分作って形を近づける。何度も作ることでだんだんとコツがわかってくる**8**つま先が出るのが良いわらじの条件。かかとがぴったりとフィットして、泥はねもしないのだとか**9**私が作った子ども用のぞうりを地面に並べて記念撮影。作れば作るほど楽しくなっていくので、またいつか皆さんと一緒にわらじを作ってみたいです

左から田口正順さん（71＝上村）、山内美知枝さん（69＝中里2）、椎葉茂さん、林田和孝さん（58＝多良木町）。右田春美さんと右田エリさん（54＝浅鹿野）を加えた6人で活動

1 25㍍バタフライ1位の北崎選手 2 決勝トーナメントに進出し3位入賞したソフトテニス 3 2年連続の3位となったサッカー 4 惜しくも優勝を逃したものの2位と健闘した黒木・溝下ペア 5 個人2位の野望田選手

劇的な勝利に湧く選手たち

クローズアップ 1

第68回球磨郡民体育祭

野球、延長制しV
湯前町、全種目総合4位

7回に1点、8回に4点、欲しいところで得点を重ねた

第68回球磨郡民体育祭は7月15日に湯前町B&G海洋センタープールで開かれた水泳競技で全日程を終え、本町は昨年度と同じく全種目総合4位となりました。

野球の決勝戦は7月12日に錦町国体記念球場で開かれ、湯前町Aが錦町Bと対戦。湯前Aは延長戦を6対2で制し、4年ぶりの優勝を果たしました。

湯前Aは3回表、椎葉龍選手（42＝下里）の犠牲フライで先制。しかし、4回に同点とされ、6回裏にタイムリーヒットで勝ち越しを許しました。最終回の7回表に廣末透選手（55＝田上）が3塁打を放つと、その後、ヒットエンドランで同点とし、延長戦へ。タイブレークで無死満塁からスタートする8回表に椎葉恭介選手（41＝下染田）が代打で登場。初球を仕留め、左中間へ値千金の3塁打を放つなど、4点を奪取。要所をしめ、7回2失点と好投していた税所義治投手（52＝中猪）が最終回を無失点でシャットアウト。昨年惜敗した錦Bに雪辱をはらし、悲願の優勝となりました。

その他の競技でも本町の選手たちが奮闘。一つでも上の順位を目指して汗を流していました。6月29日以降の成績は次のとおり。

◆全種目総合
①あさぎり町
②錦町
③多良木町
④湯前町

写真右：
延長8回、無死満塁で初球を仕留め、値千金の3塁打を放つ椎葉恭介選手
写真左：
要所を三振で締め、8回2失点と好投した税所選手

◆団体成績 ※入賞関係

▼野球
①湯前町A
②錦町B
③湯前町B
〃多良木町

▼柔剣道
①相良村
②湯前町
③球磨村

▼ソフトテニス
①錦町
②水上村
③湯前町
〃あさぎり町A

▼サッカー
①錦町
②多良木町
③湯前町
〃あさぎり町

▼バドミントン・女子
①球磨村
②あさぎり町
③湯前町
〃水上村

▼卓球
①錦町
②多良木町
③湯前町
〃球磨村

▼四半的弓道
①山江村
②あさぎり町
③湯前町

◆個人成績 ※入賞関係

〈アーチェリー〉
②黒木 宏丞

〈柔剣道〉
③福屋 博樹

〈バドミントン〉
▼女子（29歳以下）
②黒木 あさみ・溝下 絵里佳

〈卓球〉
▼女子・60代
②農望田 綾

〈四半的弓道〉
④米良 典明

〈水泳〉
▼男子・25歳未満
○100㍍メドレーリレー
①湯前町

▼男子・25歳以上
○50㍍背泳
①郷 峻太
○50㍍バタフライ
①郷 峻太
○200㍍リレー
③湯前町

▼男子・35歳以上
○25㍍自由形
①工藤 陽平
○50㍍自由形
②工藤 陽平
○200㍍リレー
②湯前町

▼男子・45歳以上
○25㍍バタフライ
①北崎 順也
○50㍍バタフライ
②北崎 順也

▼男子・55歳以上
○25㍍自由形
③深水 茂
○50㍍自由形
②蓑田 龍一
③深水 茂

▼男子・65歳以上
○25㍍背泳
①橋本 房人
○25㍍バタフライ
②池田 昇二
○25㍍平泳
②樅木 忠雄
○50㍍平泳
①樅木 忠雄
○100㍍メドレーリレー
①湯前町
○100㍍リレー
③湯前町

▼男子・75歳以上
○50㍍平泳
①兒玉 泰治

▼女子・25歳以上
○25㍍自由形
③安井 佳奈

Hotopi
ホットピ
ホットなわだいをあなたへ

No.1

飛び出す妖怪たちに会いに行こう

ゲゲゲの鬼太郎 トリックアートの館

平成27年に亡くなった漫画家、水木しげるさん（1922～2015）の妖怪漫画『ゲゲゲの鬼太郎』。そのトリックアートが7月21日から湯前まんが美術館で開催され、9月2日まで好評開催中です。

トリックアートとは、人間の目の錯覚を利用して、絵画を立体的に見せたり、見る角度によって印象が変わったりする作品のことです。

同展示は全国各地で開催されるほどの人気ぶりで、人吉球磨での開催は初。「妖怪四十七士日本縦断の旅」をテーマとし、さらわれた〝猫娘〟を取り戻すために、主人公の鬼太郎と一緒に日本を北から南へ縦断するというストーリー。各地方のご当地妖怪たちとの出会いや戦いのシーンがトリックアートとして会場いっぱいに並んでいます。

展示では、カメラの持ち込みも許可されていて不思議な絵画を見るだけでなく、妖怪たちとの記念撮影も楽しむことができます。館内では、ヘアクリップやポーチなどの小物やクッションなど、キャラクターグッズの販売も行っています。

妖術で大きさが変化？

妖怪一反木綿に乗って猫娘を救出

写真協力：まんが美術館
大寺ひかりさん
大林達明さん

■期　間　～9月2日(日)まで　会期中無休
■開館時間　午前9時30分～午後5時
■観 覧 料　高校生以上　300円(210円)
小・中学生　100円(70円)
※(　)内は20人以上の団体料金
■お問い合わせ　湯前まんが美術館
☎0966-43-2050 湯前町1834-1
ホームページ　http://yunomae-manga.com/

ここでしか手に入らない妖怪グッズが盛りだくさん

No.2

命令出して、右に左に ロボット操作でプログラミングを体験

「ロボットで遊ぼう、ワークショップ」が7月1日にレールウイング内の展示体験販売施設で行われ、小学1年生～4年生と家族7人が参加し、ロボットやドローンを動かして楽しんでいました。

2020年に全国の小学校でプログラミングが必修化することに合わせ、プログラミングの楽しさを感じてほしいと奥球磨スマートタウン研究所（横山正人代表理事）が主催。地域おこし協力隊の森田明大さん（30＝中里2）が講師を務めました。

ワークショップで使ったのは、手のひらサイズの「オゾボット」というロボット。線の上を走り、色の組み合わせで命令することができる性質を持ちます。最初は紙とペンを使って線を書き、自由にロボットを動かしました。その後、タブレットを使って「右に曲がる」「左に曲がる」などの命令を組み合わせ、定められたスタートからゴールまでロボットを動かしていました。

参加者は小型ドローンの操縦も体験し、楽しんでいました。森田さんは「初対面同士の子どもたちでも、ゴールまで競い合いながら楽しんでいたのでよかった。こつをつかんだ子どもたちはさらに考えを発展させ、ロボットにいろんな動きをさせていた」と教室の様子を話していました。

授業で習うより早い時期からプログラミングに親しむ参加者たち

線の上を走り、色の組み合わせで進む方向が変わるロボット

No.3

国際協力でマラウイへ 山北亜美さんがJICAでの活動を報告

開発途上国への国際協力を行う独立行政法人国際協力機構（JICA）の平成28年度1次隊として、アフリカのマラウイ共和国で2年間活動していた山北亜美さん（32＝瀬戸口）が7月17日に湯前町役場を訪れ、鶴田正巳町長に活動を報告しました。

以前、福岡県で夜間や緊急時のフリーランス看護師として活動していた山北さんは中学生時代にアメリカへ留学したことで海外に興味を持つようになり、JICAの試験を受験。平成28年の7月からマラウイ共和国のムワンザで活動。看護師としての経験を生かし、現地の病院で職場や衛生環境の改善、医療・看護のサポートを行いました。

役場を訪れた山北さんは仕事や食事、生活の様子を鶴田町長に報告。「なぜ、この子たちが死ななければならないのかというつらい現状を見てきた。2、3歳ほどの小さな子でもみんなに食べ物を分け与え、お店の人は裕福でなくても、私が買い物をしたときに、よくおまけをつけてくれた。現地の人の心の広さを感じた。たくさんのことを学んだ」と話しました。

今後について鶴田町長から尋ねられた山北さんは「JICAに行くという一つの目標が叶った。これからはまた看護師として働く。人手の足りないところでの看護に貢献したい。離島に行くのか、アジアの病院に行くのか、豪雨災害の地にボランティアに行くのか。これから考えていきたい」と話していました。

観光地、マラウイ湖での一枚。助け合いなどたくさんのことを学んだ2年間（中央：山北さん）

鶴田町長に現地での生活や仕事の様子を伝えた山北さん

熊本地震の復興を支援
カラオケスキップがチャリティー発表会で募金箱設置

カラオケスキップ店長の稲田實さん（69＝馬場）と妻の彌生さん（71）が６月18日に湯前町役場を訪れ、同店主催のチャリティー発表会で募った４万3750円を熊本地震の復興支援として寄付しました。

ことしで５回目になる発表会は６月17日にあさぎり町須恵文化ホールで開催。人吉球磨管内だけでなく、九州内や遠くは千葉県から、カラオケ教室などで稲田さんとつながった123組が参加しました。稲田さんは「歌で出会いがあってたくさんのつながりができた。熊本地震の復興には長い時間がかかる。できる限り支援を続けていきたい」と話し、鶴田正已町長へ義援金を手渡しました。義援金は町の社会福祉協議会を通じて被災地へ送られます。

歌でのつながりに感謝し、義援金を手渡す稲田さん夫婦

９年間を見据えた教育を
学校運営協議会第１回会議

学校運営協議会の第１回会議が６月19日に湯前中学校で開かれ、委員と町・学校関係者20人が参加。中村和弘教育長が委員に委嘱状を交付し、会長に湯前中PTA会長の有馬博士さん（44＝上里１）、副会長に元町立保育所長の土屋明子さん（67＝浜川）を選出。湯前中（古家慎也校長）と湯前小学校（菅原浩子校長）の学校経営方針を承認しました。

協議会は「地域とともにある学校づくり」を目指して同委員会が設立。湯前中に湯前小児童を招くなど、９年間を見据えた教育を進めます。今後は各学校の授業参観や学校運営についての意見交換を行い、来年２月にアンケート結果などを踏まえて学校評価を行うことにしています。

両校の校長から方針の説明を受ける委員たち

思いを一つに子どもを育成
青少年健全育成町民会議

青少年健全育成町民会議（会長＝鶴田正已町長）の総会が６月19日に農村環境改善センターで開かれ、会員38人が事業計画や予算案などを審議し、研修を受けました。

同会議は、町・学校関係者、町民の代表者でつくられた組織。総会では、会長の鶴田町長が「町の子どもたちが健やかに明るく育つよう、地域全体で青少年の育成を図っていただきたい」とあいさつしました。

議案を審議し、「社会を明るくする運動」の説明や研修が行われました。研修では、元熊本県警察の唐津博康さん（67＝下村）が「正直に生きる」をテーマに「嘘を言うより正直に認め、伝えた方がいい」などと自身の経験を踏まえながら、その思いを会員へ伝えました。

唐津さんの話に聞き入る会員

大きなプールで泳ぎ方のレッスン
湯前保育園水泳教室

大人と一緒に楽しく泳ぎ方を学ぶ園児

湯前保育園（東理絵園長）の水泳教室が７月９日にB&G海洋センタープールで開かれ、年長児17人がバタ足での泳ぎ方などを楽しく学びました。

園児の泳ぎの上達を目的に公立多良木病院の健康運動指導士らを招き、２年前から同会場で開催しています。園児たちでも足がつく板を５㍍間隔で大プールに設置。準備運動をしたあと、プールサイドで泳ぐ姿勢や息継ぎなどを確認してから水につかりました。

園児は指導士や保育士につかまり、３人ずつバタ足や水に顔をつける練習をしました。そのあと、ライフジャケットを身に着け、ラッコのように浮く練習やスタンドアップパドルボード（SUP）をして楽しみ、水に親しんでいました。

セルフレスキューを楽しく学ぶ
水辺の安全教室

B&G海洋センターの「水辺の安全教室」が７月21日に同プールで開かれ、保育園～小学６年生とその家族ら16人が参加し、水中での浮き方や救助の方法などを学びました。

子どもたちが自分の命を守るための意識と技能を身に着けることで、安全に楽しく水辺で遊んでほしいと平成22年から全国のB&G海洋センターで行われています。上球磨消防署の署員４人が参加者に「水に入らずに救助する方法」など、救助の知識や技術を教え、実際にその方法を披露しました。

その後、参加者は水難時に浮輪の代わりに使うことができるペットボトルやランドセル、ごみ袋など身近なものを使った浮き方を体験。同センターの職員から「しっかりと息を吸い、力を抜いて」「あごを上げて天井を見るように」「服や靴は脱がない」などのアドバイスを受けて背浮き。最後には立ってボードを漕ぐ「スタンドアップパドルボード」（SUP）を楽しんでいました。上球磨消防署消防士長の岡村智志さんは「球磨川は流れが速く、管内でも水難事故が発生している。今回学んだ『自分の命を守る』ことを心がけてもらい、楽しい夏休みを過ごしてほしい」と話していました。

８月25日の午後１時30分からはSUP体験会も行われ、実際に川に出てボードを漕ぐ予定です。

ペットボトルやランドセルなど、身近なもので浮くこつを学んだ参加者

プールにボードを浮かべて、SUPも楽しんだ

かけがえのない時間をありがとう！

ALT ガブリエルさんが退任

昨年７月に本町のALTとして着任し、“ガビー”の愛称で親しまれていた、ガブリエル・エリザベス・リードさん（25=アメリカ・カリフォルニア州）が７月末に退任しました。

ガブリエルさんからのメッセージ

湯前で一年間過ごさせていただき、ありがとうございました。この町は美しく、住民も優しく、学校の先生たちと働くのも大好きで、生徒たちは私に多くの楽しみをもたらしてくれました。湯前に住んだことで、自分がどれほど日本で暮らすことが好きなのか、気づくことができました。私は日本語を勉強するために、日本のある学校に通うことを決断しました！ 湯前に住むことができて、とても感謝しています。大好きな湯前は私にとって、日本の最初の故郷です！この１年間は私にとってかけがえのない時間であり、人生の貴重な経験となりました。私にとって熊本はとても特別な場所です。将来、ふたたび湯前を訪れるときを楽しみにしています！　ガビー

住民や生徒に感謝を告げ、さらに日本語の勉強に励むガブリエルさん

Yunomae, thank you for one year! This town is beautiful, the people are kind, I love working with the teachers, and the students bring me so much joy! Yunomae has also shown me how much I love living in Japan. Because of this, I've decided to further my education in Japan, and go to school to study Japanese! I am so grateful that I got to live in Yunomae. I love it here, and this is my very first home in Japan! I will always treasure the irreplaceable experiences that I have had over the last year. I think Kumamoto is a very special place, and I look forward to coming back to visit in the future!

SPORTS

B&G海洋センターだより

楽しくスポーツ交流しませんか？

第54回秋季球技大会

大会と練習で、地区・町の皆さんと交流し、
楽しい球技大会にしましょう。

■ **期　日**

9月2日(日)
〔全種目〕
午前8時30分開会

■ **種目と会場・参加条件**

種　目	会　場	参加条件
バレーボール	小学校体育館(開・閉会式) 中学校体育館	本町在住の一般男女 (学生除く)
ソフトバレーボール	B&G海洋センター体育館	本町在住の一般女性 (学生除く)
グラウンドゴルフ (雨天時：ニチレクボール体験)	町民グラウンド (雨天時：改善センター大集会場)	小学４年生以上

お問い合わせ　B&G海洋センター　℡0966-43-4555

クスッと笑いがこみ上げる楽しい漫画を募集中

第27回那須良輔風刺漫画大賞作品

■ **募集期間**

9月15日(土)まで　※当日消印有効

■ **部門**

○一般部門（高校生以上）
○ジュニア部門（中学生以下）
※ジュニア部門は「幼児・小学生」「中学生」の２クラスで選考

■ **賞**

【一般部門】
那須良輔大賞　1点　50万円
審査員特別賞　1点　10万円　ほか
【ジュニア部門】
那須良輔大賞（中学生）　1点　図書カード３万円
湯前町長賞（小学生）　1点　図書カード２万円　ほか

■ **応募・お問い合わせ**

〒868-0621　熊本県球磨郡湯前町1834番地1
湯前中央公民館（湯前まんが美術館）　℡0966-43-2050　FAX0966-43-3373

※くわしくは湯前まんが美術館ホームページ（http://yunomae-manga.com/）をご覧ください

湯前ぶどう祭り&焼酎蔵祭りの出店者を募集します

■ 日　時　**8月18日(土)　午後6時～午後9時**
■ 場　所　**農村環境改善センター**
■ 内　容　**ブドウの直売やスイーツ販売、きき酒、焼酎銘柄当てなど各種イベント**
■ **抽選券付バザー券　湯～とぴあで販売中**

【出展者募集】
■ **対 象 者**　町内に住んでいる人
■ **申込方法**　湯～とぴあにある「出店申込書」を提出
■ **出 店 料**　湯前町観光物産協会員　1000円
　　　〃　非会員　2000円
■ **許可条件**　食品を販売するときは、必ず保健所に**臨時営業許可**の申請を行うこと
■ **出店者説明会**　日時：8月14日(火)午後7時　場所：湯～とぴあ
■ **申込締切**　8月10日(金)
■ **申 込 先**　ぶどう祭り実行委員会（湯前町観光物産協会内　℡0966-43-4143）

戸籍の窓

平成30年6月1日～6月30日

ご結婚おめでとう

石原　勇馬（上村）
安田　礼加（大阪府）

たんじょうおめでとう

澁谷(しぶや)　桧茉吏(ひまり)　秀明（下里）
池島(いけしま)　龍ノ助(りゅうのすけ)　鷹志（上村）

ご冥福をお祈りします

唐津　ミヨコ（下村）
福永　常子（上里３）
岸川　孝子（下村）

香典返し

嶋田　イチ子（下里）
唐津　博康（下村）
福永　伸一（上里３）
石原　千鳥（下村）

ひとの動き

（６月末現在）

男性	1868人
女性	2114人
計	3982人
世帯数	1627戸

Dietary habits

管理栄養士だより

8月31日は野菜(ヤサイ)の日

色鮮やかな夏野菜で　暑さに負けない体を

夏野菜の特徴の１つは、色の鮮やかさ。ビタミンやポリフェノールなどが色となって現れています。これらの栄養素が暑さに負けない体づくりを助けてくれます。

夏野菜には、汗で失われやすい水分・ミネラルなどが豊富に含まれていて、ほてった体を冷やす働きもあります。夏野菜を食べて暑さを乗り切りましょう。

《色鮮やかな夏野菜》
トマト、ピーマン、キュウリ、ナス、トウモロコシ・ゴーヤ、ズッキーニ、パプリカ、オクラ など

管理栄養士　田中 朋子

Health

保健師だより

熱中症予防の目安には「暑さ指数」

厳しい暑さが続き、熱中症が最も発生しやすい季節。７～８月は農作業による熱中症での死亡事故も多くなっています。熱中症対策では、気温だけでなく「暑さ指数」を確認しましょう。

暑さ指数は高いほど危険です

人の体と外気との熱のやりとりに注目し、①湿度 ②日射・輻射(ふくしゃ)などの熱の環境 ③気温の３つを取り入れた暑さの指標です。高ければ高いほど、熱中症になりやすくなります。環境省のホームページに暑さ指数の実況と予測が掲載されています(www.wbgt.env.go.jp/)。暑さ指数の単位も「℃」を使いますが、気温とは異なります。間違いのないよう注意してください.

暑さ指数	注意すべき活動の目安	注意事項
危険　31℃以上（参考：気温35℃以上）	すべての活動	高齢者は安静状態でも熱中症になる危険がある。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
厳重警戒　28～31℃（参考：気温31～35℃）		外出するときには炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒　25～28℃（参考：気温28～31℃）	中度以上	運動や激しい作業をするときは定期的に、充分休憩をとる。
注意　21～25℃（参考：気温24～28℃）	強度	危険性は少ないが、激しい運動や重労働時には熱中症になることもある。

※暑さ指数は、湿度などでも大きく変わります。表中の気温は参考程度に見てください

暑さを避け、こまめに休憩と水分補給を

まずは暑さを避けることが最大の予防策です。のどが渇く前に水分補給し、こまめに休憩をとりましょう。作業は一人で行わないことや体調の変化に気をつけることも大切です。農作業に慣れている人でも熱中症で亡くなることもあります。我慢せず、対策を充分にとるように心がけましょう。

【参考・引用資料】
○環境省ホームページ「熱中症予防情報サイト」
○30生産第318号発　農林水産省生産局技術普及課長「農業中の熱中症対策について」

保健センター　野々原 亜紀

Ecolog

ごみ情報

リサイクルステーションからのお願い

＊リサイクルは「きれいなもの」が基本
＊汚いものや不燃物は持ち込まないよう、きちんと分別を

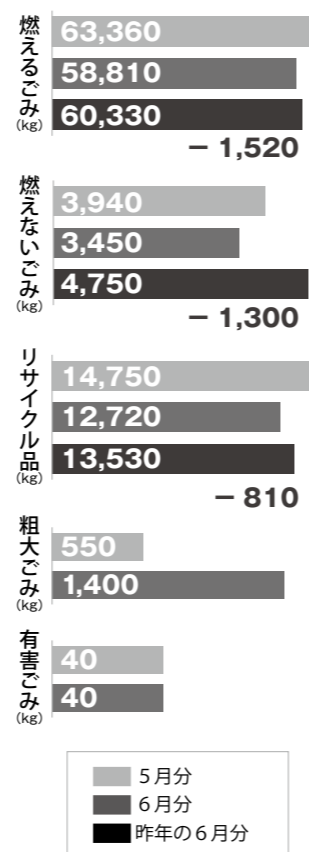
使い切り　食べきり　水切り　でごみ減量

家庭ごみの中で大きな割合を占めるのが「生ごみ」。
町では、生ごみを減らすために「３切る運動」を推進しています。

１．買った食材を『**使い切る**』
- 買い物をする前に冷蔵庫を確認
- 献立を考えて、使う物だけを買い物かごへ
- 野菜、果物は正しく保存。肉、魚の残りは小分けして冷凍

２．調理したものを『**食べ切る**』
- 冷蔵、冷凍保存した残り物も忘れずに食べる
- 食べ残した物を使って、他の料理に作り替える

３．生ごみは『**水を切る**』
- 水分は臭いの原因。水気を切ってごみを減量
- 調理するときに、生ごみを濡らさない
- ごみ袋に入れる前に、ギュッとひとしぼり

※８月の不燃物収集は １日、15日 です（第１・３水曜日）

Books

読書のススメ

中央公民館図書室 ※貸出期間２週間/一人５冊まで
○平日 午前８時30分～午後５時　○土日・祭日 午前９時30分～午後５時
問教育委員会 TEL0966－43－2050

健康も考えてビールを楽しむ
麦酒（ビール）のつまみ
太田 潤（著）　家の光協会

仲間が集まれば、何はともあれ、ビールで乾杯！ ビール好きの健康管理も考えた、ビールによく合う、一味違った簡単レシピ55種類を掲載。より一層ビールが楽しめる一冊。

生きるほどに楽しくなる
老後ぐらい好きにさせてよ
野末 陳平（著）　青春出版社

下流老人、老後破産…不安ばかりが取り上げられる、これからの老後。しかし、どうせ生きているのなら、健康で人生を面白がらなきゃ損ってもの。ちょっとした心がまえから、知っておきたい実用的な老後のコツまで。生きるほどに楽しくなるヒントが満載。

湧き上がるきらめき
なみ
スージー・リー（著）　講談社

小さな女の子の波との追いかけっこ。寄せてはかえす波との無心の遊び。文もなく、２色だけで、だれの心にもある夏の思い出のきらめきや、ざわめきが表現された絵本。昨年、アメリカで刊行され、たちまち世界中から、出版の申し込みが殺到した話題作。

人情味あふれるお化けたち
お化けのおもてなし
川端 誠（著）　ビーエル出版

お化け屋敷へ座敷わらしたちが遊びに来ることになり、みんな大喜び。さっそくごちそうの準備が始まり…。普段、人を怖がらせたり悪さをしたりする姿とは違い、人情味にあふれるお化けたち。もてなしの心が伝わる作品。

婦人会だより

毎年異常気象を更新する夏。ことしも猛暑日の連続です。汗をいっぱいかきます。
水分だけでなく塩分も取りましょう。こまめに休憩することも忘れずに。

地域婦人会
会長 橋田 實子

9月9日（日）　午前10時～　敬老会を開催します

ことしはシンガーソングライターの「むたゆうじ」さんをゲストに招いています。
皆さんそろってお越しください。場所は農村環境改善センターです。

タオルを手渡した慈光こども園の園児たちと笑顔でパシャリ

6月17日（日）　郡婦連支部長研修
▶活動発表（湯前が当番）　木上コミュニティセンター

7月 5日（木）　町防災会議
▶「絶対に大丈夫」ではなく「もしも」を想定して多くの関係機関からの大切な話をしっかり受けて止めて聞きました。

7月12日（木）～13日（金）　タオルの提供
▶会員から提供してもらった新しいタオル約200枚を町内の公共機関8カ所に配布しました。

7月17日（火）　救急講習会と支部長会
▶上球磨消防署から4人に来てもらい、AEDの使い方、熱中症対策、防災の心構えについて学びました。

心肺蘇生法やAEDの使い方を学んだ救急講習会

7月29日（日）　郡婦連ミニバレーボール大会
▶多良木町民体育館　全14チーム（本町2チーム）

これから

8月26日（日）
球磨ブロック災害ボランティア設置訓練
場所：球磨村運動公園（さくらドーム）

9月9日（日）　町敬老会
※いよいよ敬老会の準備に入ります。支部長さん、区長さん、世話役さん、お世話になります

ゆのまえがお

野中田3区の皆さん

■ひとこと
「猛暑の中、みんなでいきいき百歳体操頑張っています」

「笑顔がすてき」「何かPRしたい」などたくさんの人を待っています
企画観光課 地域おこし協力隊まで TEL 0966-43-4111

Front Page

今月の表紙

年に一度行われる湯前小学校1年生の親子給食。机をつけて「いただきます」。会話中にこぼれる笑顔は最高の調味料。おいしい給食がさらにおいしく感じたのではないでしょうか。

編集後記

▼郡体野球の決勝戦。シビれる展開に息をのみ、カメラを構えていました。決定的瞬間を撮ろうと、チャンス時には特に集中。延長8回、勝負が決まったのはその初球。心の準備をしていたもののベストショットは撮れず（椎葉選手、すみません……）。一発勝負に弱い宏です。とある野球選手の言葉。メンタルは技術。一から鍛え直したいと思います。
▼7月の休日。ヒマワリを見に県外へ行きました。前夜の雨でほとんどが枯れかけ。通りがかった人がまだ咲いているスポットを紹介してくれました。目に飛び込んだのは満開のヒマワリ。いやされました。地主さんはわざわざ畑の中に入れる通路を作ってくれました。他人のために、ここまで親切には、なかなかなれないもの。自分もそうでありたいと思った一日でした。
▼異常な暑さが続きます。一説では蚊も30度を超えると活動がにぶくなるとか。暑くても活動をしなければならない私たち。倒れるわけにはいきません。水分補給や休憩をこまめにとって、なんとか夏を乗り切りましょう。（宏）

湯前町職員採用試験
一緒にまちを盛り上げませんか――

区分	職種	採用予定数
高等学校卒業程度	一般事務	1人程度
資格免許職	社会福祉士	1人
	学芸員	〃
	保健師	〃

■ **受験資格**

○一般事務
昭和58年4月2日～平成13年4月1日生まれ

○社会福祉士・学芸員・保健師
昭和58年4月2日以降に生まれ、それぞれの資格を持つ人
（平成31年3月までの取得見込みを含む）

■ **受付期間**

～8月10日（金）　午前8時30分～午後5時まで　※土日祝以外
※郵送は8月10日（金）消印有効

■ **申込先・問い合わせ**

湯前町役場総務課　電話 0966-43-4111
住所 〒868-0621 熊本県球磨郡湯前町1989-1

■ **申込用紙の請求**

①役場総務課に直接取りに行く
②郵送（表に「湯前町職員採用試験申込請求」と朱書し、140円切手を貼った返信用封筒を同封）
③町のホームページからダウンロード（http://www.town.yunomae.lg.jp/）

■ **郵送での提出方法**　※直接持参することもできます

受験票の返信用として82円切手を貼った封筒（宛先、郵便番号を明記）を同封し、表に「湯前町職員採用試験申込」と朱書した封筒に入れて、簡易書留郵便で送付

■ **日時・場所**

試験	日時	試験会場	内容
第一次試験	9月16日（日） 一般事務・学芸員 午前8時30分 社会福祉士・保健師 午前11時15分	あさぎり中学校 （あさぎり町）	一般事務・学芸員 教養・適正・作文 社会福祉士・保健師 専門・適正・作文
第二次試験	10月下旬予定	第一次合格者に通知	人物試験（個別面接）

■ **試験内容**

程度	区分		出題内容
一般事務	教養試験（高卒程度）		一般知識（社会・人文、自然、時事）、一般知能（文書理解、判断・数的推理、資料解釈）
	適性検査	事務適性	作業能力（適応性、正確さ、迅速さなど）
社会福祉士	専門試験		社会福祉概論（社会保障、介護含む）、社会学概論、心理学概論
	適性検査	事務適正	上と同じ
学芸員	教養試験（高卒程度）		〃
	適性検査	事務適正	〃
保健師	専門試験		公衆衛生看護学、疫学、保健統計学、保健医療福祉行政論
	適性検査	事務適正	上と同じ

※すべて択一式

作文試験	文章での表現能力をみる筆記試験　※受験者全員

先輩インタビュー

税務町民課
山崎 莉奈（りな）さん（20＝上里2）
※H29入庁

生まれ育った大好きな湯前で、町の人のために仕事がしたいと思い職員になりました。窓口での業務では、たくさんの町民に声をかけてもらえることがうれしいです。最初は不安もたくさんありましたが、頼りになる上司と相談を聞いてくれる優しい先輩に恵まれているので、毎日やりがいを感じながら仕事をしています。

クローズアップ２

球磨人吉中体連夏季大会
通信陸上競技大会県大会

16人が県大会へ 落合諒さんが県2年 1500㍍で1位

２年生ながら代表3000㍍で２位となった落合さん（右）は、県大会２年1500㍍で１位に輝いた。左：共通男子3000㍍で県大会に出場した福屋さん

平成30年度球磨人吉中体連夏季大会は６月16日から７月５日の間に郡市内の各会場で開かれ、湯前中学校（古家慎也校長）の各選手が奮闘。16人が県大会へ出場しました。

７月15日に県民総合運動公園で開かれた第64回全日本中学校通信陸上競技大会県大会には13人が出場し、３人が入賞。中でも２年男子１５００㍍に出場した落合諒さん（同校２年＝中猪）が４分18秒60のタイムで１位となる活躍を見せました。

多良木町多目的総合グラウンドで開かれた陸上競技は、共通男子３０００㍍で落合さんが２位、同４００㍍では稲森隼都さん（３年＝下里）が２位、同８００㍍では篠宮光陽さん（３年＝馬場）が２位になるなど好成績を収めました。

あさぎり町上武道館で行われた柔道では、50㌔以下級で清川優希さん（３年＝植木）が優勝。ソフトテニス女子では溝辺愛花さん（３年＝浅鹿野）、吉永百花さん（３年＝上里３）ペアが３位で県大会へ出場しました。

〈競技結果〉

※太字は県大会出場

〈柔道〉
◆男子
▽団体　予選リーグ敗退
▽個人
○50㌔以下
①清川優希
○55㌔以下
③藤岡　顕将
〃藤岡　慈将
○73㌔以下
③田爪　快周

〈女子バレー〉
▽決勝トーナメント
湯前中０―２錦中
（予選：湯前中０―２多良木中、湯前中２―０球磨中）

〈野球〉
▽１回戦
湯前中１―６あさぎり中

〈ソフトテニス〉
◆男子
▽団体　予選リーグ敗退
▽個人　ベスト16
田爪　壱征・村上　治輝、北崎　智夢・溝辺　宥希
◆女子
▽団体　決勝トーナメント
１回戦
湯前中０―２水上中
▽個人
③溝辺　愛花・吉永　百花
ベスト８
野田　綾乃・遠山　彩音
ベスト16
溝辺　奎伽・渋谷　洋帆

〈剣道〉
▽個人
２回戦　上村　純

〈陸上〉
◆男子
▽共通３０００㍍
②落合　諒
③福屋　渉
▽共通８００㍍
②篠宮　光陽
▽共通４００㍍
②稲森　隼都
▽３年１５００㍍
③黒木　海斗
⑥北崎　雄一郎
▽１年１００㍍
②黒木　海音
▽共通４００㍍リレー
⑤湯前中
◆女子
▽３年１００㍍
⑤中華　美咲
▽２年８００㍍
④永濵　香琳
▽２年１００㍍
⑤小田　菜波
▽１年８００㍍
②深水　帆乃華
▽共通４００㍍リレー
⑥湯前中

〈水泳〉
◆男子
▽代表・50㍍平泳ぎ
②北崎　智夢
▽代表50㍍自由形
④本村　匠
▽代表50㍍平泳ぎ
④椎葉　晴基
▽代表50㍍バタフライ
⑥北崎　智夢
▽２年・50㍍自由形
③落合　諒
▽１年２００㍍フリーメドレー
⑥湯前中
▽２年２００㍍フリーメドレー
④湯前中
▼女子
▽代表・50㍍平泳ぎ
②岩野　桃子
▽代表１００㍍平泳ぎ
④岩野　桃子

〈吹奏楽部〉
◆Ｂパート　銅賞

〈県大会〉

※入賞関係

◆男子
▽２年１５００㍍
①落合　諒
▽共通４００㍍
⑥稲森　隼都
◆女子
▽１年８００㍍
⑦深水　帆乃華

❶３枚のブロックをかわし、アタックを決める岩野桃子さん❷個人ベスト16となったソフトテニス男子２組（写真：北崎智夢さん）❸50㌔以下級で優勝を果たした清川優希さん（右）

共通400㍍で２位となり、県でも６位入賞を果たした稲森さん

陽心館

石井愛子さん、河内杏華さんが全勝でＶ

九州地区団体戦空手道選手権大会

第15回九州地区団体戦空手道選手権大会が６月10日に福岡県直方市体育館で開かれ、組手の部、小学５・６年生女子で陽心館（藤岡孝史代表）の石井愛子さん（湯前小学校５年＝中里２）と河内杏華さん（多良木小学校６年＝多良木町）が優勝しました。

同大会は日本空手協会が主催し、九州各地から選手が集う大きな大会。同部には13チームが出場しました。団体戦は３人一組で行われますが、今回陽心館は４選手を二組に分けて同部に出場。石井さんと河内さんは一度でも負けると敗退が決定するプレッシャーをはねのけ、全勝で優勝をつかみました。

石井さんは「相手に先手をとられても、あきらめずに攻めていけたことがよかった。練習で上段蹴りをさらに練習して、一発で試合を決められるようになりたい。全国で優勝したい」、河内さんは「一度でも負けたら終わりだったので、絶対に負けないという気持ちを持って挑んだことが勝利につながった。技の使い分けに磨きをかけて全国で優勝したい」と話しました。藤岡さんは「全試合で危なげない安定した試合をしてくれた。全国大会に向けて、弾みをつけられるような内容だった」と話しました。

４月に行われた県大会では二人を含む11人の小・中学生が優勝・準優勝を果たし、８月４、５日に宮城県で開かれる全国大会に出場する予定です。

３選手で戦う団体戦を二人で出場し全勝を収めた石井（左）さんと河内さん

広報湯前
活き活きと輝き、誇れる町の今をあなたに届ける
Public Relations Since1962.
8 Aug 2018 Vol.446
平成30年8月1日発行第446号
発行／湯前町役場総務課 http://www.yunomae.com/ 〒868-0621 熊本県球磨郡湯前町1989-1 TEL0966-43-4111 印刷／㈲ソーゴーグラフィックス

VOL.12 フォーカス Focus
Focus on hot human.

遊び心を形に、命を吹き込む——

椎葉 茂さん(田上)

会話をしながらも数分で葉っぱをバッタに仕上げる椎葉さん

竹細工や葉細工なども手がける、和楽路(わらじ)の会の椎葉茂(しげる)さん(74＝田上)。今から約30年前、雑誌に載っていた竹細工が目に留まり、自分で真似して作ってみたことが始まり。思っていた以上に作品がよくできたことで、どんどん工作にはまっていった。

「家にあるものでできることが竹細工の良いところ。買うのは接着剤ぐらい」と使うのは家にある竹と竹ぼうきの先端の小さな枝。ナイフと小さな錐を使って材料を加工する。竹は割れやすく、完成間際で割れてしまうこともある。作業には細心の注意を払っている。

仕上げた細かいパーツをつなぎ合わせて作品を作り上げる。竹はいろんな生き物に大変身。人や、カニ、カブトムシ、クワガタ、テントウムシ。どれも今にも動き出しそうなほど生き生きとしている。シュロやカヤの葉はバッタに。ストローはエビやムカデに。椎葉さんの手によって、身近な物に命が吹き込まれる。

「こうしたらおもしろいんじゃないか」という遊び心を形にすることが椎葉さんのこだわり。作品を本物に近づけるため、曲がった枝などいろんな形の材料を組み合わせて、横やナナメの動きも表現するよう工夫している。

「人に喜んでもらえることがうれしい」と作った作品は他人に譲る。メロンやパプリカなどの農作業が忙しいため、今は竹細工よりもわらじ作りを優先している。「たくさんの人にわらじの会に入ってほしい。長く続けると上達する。作る楽しみを感じてほしい」。椎葉さんはだれよりも、ものづくりの感動を分かち合う楽しさを知っている——。

お腹の編み込みまでこだわり、本物そっくりなバッタ

1バッタは畑に生えているシュロの葉。材料は自宅にあるものでまかなう2ストローに命を吹き込みエビが誕生3弓矢で猪と的を射るユニークな作品が椎葉さんのお気に入り